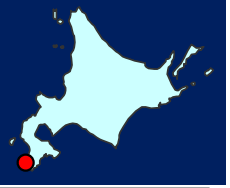
第3種 江良漁港
（北海道松前町）

江良（えら）地区特定漁港漁場整備事業計画

渡島西部圏域
生産拠点



松前江良地域マリンビジョン策定（推進地域）

現状と課題

・野天での陸揚げ、出荷作業のため、鳥糞などの混入や直射日光などによる品質低下の懸念がある。
・耐震性能が確保された岸壁がなく、接続された道路も液状化対策がされていないため、大規模災害発生後において、漁業活動が長期間休止するおそれがある。
・護岸を大きく超える越波が頻繁に発生し、蓄養施設の損傷や漁船沈没の被害が発生している。

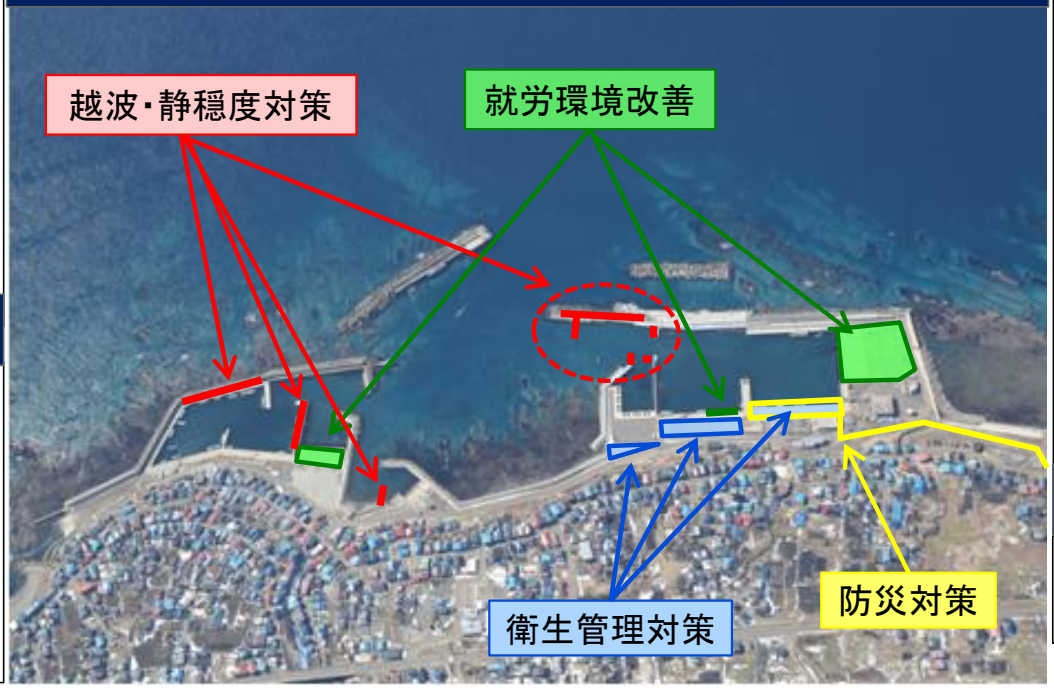
港　勢　（R5港勢調査）

登録漁船：122隻
利用漁船：141隻
（内、外来漁船：11隻）
属地陸揚量：69トン
属地陸揚金額：0．8億円
主な魚種：ヤリイカ、コンブ類
組合員数：55人

◎江良漁港の役割

・スルメイカ、マグロなど道内外の外来漁船の陸揚げ拠点及び地域沿岸漁業の生産拠点

主　要　対　策



主な整備方針

・衛生的な陸揚げ・荷さばき環境を確保するため、屋根付き岸壁などの整備を行う。
・大規模災害発生後における水産業の早期再開のため、耐震性能を強化した岸壁及び道路の液状化対策を行う。
・港口からの進入波の抑制や防波堤からの越波を防止し、港内静穏度の向上を図るため、防波堤の嵩上げや突堤の整備を行う。
・漁業活動における就労環境の改善を図るため、低天端岸壁への改良や船揚場に屋根を整備する。

基本事項

全体事業費：53．2億円
事業期間：H29～R11

主要な対策①：衛生管理対策

野天での陸揚げ状況①

野天での陸揚げ状況②

主要な対策②：越波・静穏度対策

防波堤からの越波状況

越波による漁船沈没状況

蓄養施設前面の擾乱状況